



第6回 SSIシンポジウム



生きることと働くこと

— いのちを大切にする経済社会とそれを支えるまちづくり

2015年、国連サミットにおいて持続可能な開発目標(SDGs)が記載された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が加盟国の全会一致で採択され、人間のみならず、他の生命体、および地球自体の「いのち」を危険にさらす様々な課題に立ち向かうことが約束されました。そして今、産官学民が一体となってSDGsの達成を推進していくだけでなく、その達成目標年である2030年以降どのような社会を実現したいのかを、SDGsが謳う「誰一人

取り残さない」の精神に立って「みんな」で考え、話し合い、行動に移していかななくてはなりません。今回はGoal 8（働きがいも経済成長も）を中心に活動する世界的組織Global Sustainability Network (GSN)とともに、「生きること」と「働くこと」の関係をとらえ直すことを目的とします。また、Goal 11（まちづくり）とGoal 17（パートナーシップ）の視点を取り入れることで、あるべき経済、社会とそれを成立させる都市・地域の形を探ります。

ハイブリット
開催

◎参加費：無料
◎定員：250名

2024.3.28 Thu. 14:00-18:30

@大阪大学中之島センター7階共創フロアセミナー室および5階いのち共感ひろば

対面:100名

オンライン (YouTubeLive+メタバース):150名

参加申込は
こちらから



or

クリック

— いのちを大切に作る経済社会とそれを支えるまちづくり

PROGRAM

□14:00 1部 トークセッション

<会場:7階共創フロアセミナー室>

開会挨拶 堂目卓生

大阪大学大学院経済学研究科教授、SSI長

Raza Jafar

GSN代表

登壇者 木多道宏

大阪大学大学院工学研究科教授、SSI副長

山岡万里子

ノット・フォー・セール・ジャパン(NFSJ)代表、

出版翻訳者

Scott Cunningham

教育やテクノロジー分野の起業家、

SDGuild設立者

Irene Gampel

ウクライナ生まれ、Embrace Foundation設立者

モデレータ: 松本文子

大阪大学大学院工学研究科特任准教授

□15:50 会場との意見交換

□17:00 2部 ポスターセッション

<会場:メタバース空間 + 5階いのち共感ひろば>

□18:30 全体終了

メタバース会場

- 大阪関西万博会場を望む大阪市港区の上空にメタバース会場を設定しました。このメタバース会場では14:00からのシンポジウムと17:00からのポスター発表をご覧いただくことができます。
- 17:00からのポスター発表では、大阪大学の留学生たちが万博会場の周辺地域のまちづくりのために取り組んだ調査結果と提案をメタバース内の会場で発表します。
- メタバース会場への入場には、Clusterへのログインが必要です。
- ClusterとはPC、スマートフォン、VR機器などからメタバースに入ることができるアプリケーションです。Clusterの詳しい設定方法はこちらをご参照ください。設定に1時間近くかかる場合がありますので事前にご用意ください。初めての方や不慣れな方のために、ワールドをシンポジウム当日の13:00から開きます。
- 当日中之島センターで対面にて参加される方も、17:00以降は5階いのち共感ひろばにご移動いただいて、大型スクリーンからメタバースの様子をご覧いただくこともできます。

登壇者プロフィール

堂目卓生

大阪大学総長補佐/SSI長/大学院経済学研究科教授。『アダム・スミス「道徳感情論」と「国富論」の世界』(中央公論新社/2008年)でサントリー学芸賞を受賞。2019年、紫綬褒章。

木多道宏

大阪大学大学院工学研究科教授/SSI副長/「新たな防災」を軸とした命を大切に作る未来社会研究部門(New-POD)副部門長。国内外の集落・都市における「地域文脈」を継承した建築・都市デザイン、アフリカ非正規市街地の改善などの実践と研究を行なっている。

Raza Jafar

GSN代表。銀行業や航空業を手がけ、現在は不動産開発とホスピタリティ・マネジメントに携わる起業家。ドバイのパラッツォ・ヴェルサーチを設立し、会長を務め、ワールド・ラグジュアリー・ホテル・アワード2016など数々の賞を受賞。

Scott Cunningham

教育やテクノロジー分野の起業家。SDGuild設立者。多くの慈善活動を支援し、カイラシュ・サティヤルティ、レイマ・ゴボウイなど多数のノーベル平和賞受賞者とともに積極的に活動している。

Irene Gampel

ウクライナのキエフに生まれ、11歳でイスラエルに移住。その後アメリカに渡り、サンディエゴ州立大学で経営学の学士号を取得。銀行と不動産管理の分野で成功した後、世界で最も弱い立場にある人々のニーズに焦点を当てたエンプレイス基金を設立した。

山岡万里子

ノット・フォー・セール・ジャパン(NFSJ)代表。出版翻訳者。現代奴隷問題の啓発のため、2011年にNFSJを設立。「人身売買禁止ネットワーク(JNATIP)」運営委員、「消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク(SSRC)」共同代表幹事として、政府・企業・消費者に働きかけている。

